



【第52号】

令和元年11月1日

発行 協同組合盛岡卸センター
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2番15号
TEL 019-638-1111(代) FAX 019-638-4532
URL <http://www.morioka-oroshi.jp/>

“2019第10回岩手流通センター活き活き祭”



9月14日(土)盛岡地区勤労者共同福祉センター大ホールを主会場に、「岩手流通センター活き活き祭」を開催した。

この祭りは、岩手流通センター内企業・団体と周辺企業等で組織する岩手流通センター活性化委員会の主催で、当組合が実行委員会事務局となり運営された。

10回目となる今回も、東日本大震災の復興支援を共通のテーマに、協賛商品の売上金全額と来場者から寄付していただいた古着や古紙を回収し換金後全額の231,903円を義援金として、10月31日にIBC岩手放送を通じて募金した。2回目から行っている義援金、募金の累計金額は1,920,087円となっている。



祭日には、岩手流通センター内企業を中心に38社の出店があり、多種多様な商品が格安で販売された。大ホール内の子ども広場ではふわふわスライダーやミニ四駆教室・レース大会、屋外の「らくがきくるま」は子ども達に大変喜んでもらった。また、ステージでは北川保育園とみなみ幼稚園の園児による演技や鉄神ガンライザー零の握手会・撮影会、バンドによるライブなどが行われ、子どもからお年寄りまでたくさんの人で賑わった。

流通神社遷座祭・例大祭

流通神社新社殿建立工事が9月13日に無事完了し、9月20日(金)午後4時から御神体を新社殿に移す遷座祭を斎行し、10月1日(火)午前11時から毎年恒例の流通神社例大祭を開催した。遷座祭、例大祭ともに好天に恵まれ、神事は滞りなく執り行われた。

新境内において初めて執り行われた例大祭は、矢巾町のほか金融機関の代表、流通センター内の企業や団体・住民代表など約60名の



参列により、流通センター関係者の商売繁盛・家内安全を祈願し神事が執り行われた。

神事の後は約20年ぶりとなる直会が34人の参加により開催された。直会では、新社殿建立に当たり新設された流通神社奉賛会の藤村文昭会長(当組合理事長)より出席者に謝辞が述べられ、引き続き流通センターの守り神としてお祀りするとともに、氏神様を身近に感じられる憩いの場になることを期待したいとの思いが述べられた。また、奉賛会別当(神社管理者)の熊谷久氏からは神社移転の経緯について、当初現在のビレッジハウス都南付近に祀られていた弁財天が、流通センター造成時に鹿妻公園の一角に流通神社として祀られ、今般50年の時を経て現在の場所に遷座したことが語られた。

当組合が50周年を迎える年に新社殿が建立されたことは、非常に意義深くご縁を感じる。流通センターの氏神様として、これまでより身近に鎮座されることとなったので、皆様にも組合会館にお立ち寄りの際には気軽にお参りしていただきたい。



新社殿の建立にあたりましては、組合員、賛助会員はもとより、流通センター内外の企業、団体、住民の皆様から多大なる御奉賛、御協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。維持管理につきましても、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事会結果報告

第6回 理事会（9月18日開催）

1. 報告事項

- (1)組合収支状況報告(令和元年7月末試算表)
今年度4カ月間の収支状況は共同事業収入182,489千円、共同事業費は175,979千円であり6,510千円の粗利益。賦課金収入、事業外収入が計17,642千円、一般管理費、事業外費用が計17,513千円、結果として当期利益は6,639千円であり、ほぼ計画通りに推移していることを報告。
- (2)岩手流通センター活き活き祭の開催結果報告
- (3)各委員長・副委員長の互選結果報告
別添 委員会委員一覧参照
- (4)流通神社遷座祭並びに例大祭の開催について

2. 提出議案

- 第1号 組合会館トイレ改修工事の承認について
現在、洋式便器は1階トイレの男女各1箇所しかなく、会館利用者やテナント各社から洋式便器への改修の要望が多く寄せられていたため改修工事を行うことが承認された。また、工事に合わせ2階と地階の小便器について、センサー式にすることも承認された。
- 第2号 組合会館貸室・駐車場並びに共同駐車場の賃貸料改定案の承認について
共同事業委員会から組合会館テナント料、駐車場および共同駐車場の基本料金改定案の答申があり、改定することが承認された。
共同駐車場の改定後の基本料金は、月額組合員2,500円(税別)員外4,400円(税別)となる。
なお、新料金は令和2年1月分から適用となる。

第7回 理事会（10月17日開催）

1. 報告事項

- (1)流通神社についての報告
遷座祭と例大祭の開催状況と流通神社奉賛会への加入申込みと奉賛金額の現状を報告。10月16日現在の奉賛会への加入申込みは、組合員49社、賛助会員2社、流通センター内外企業・団体20先、合計71団体、奉賛金の金額は、組合員91社484万円、賛助会員9社12万円、流通センター内外企業・団体33団体46万円、個人2名15万円、合計135団体557万円となっている。
奉賛会加入、奉賛金とも未だ目標に達していないため引き続き協力を依頼する。
- (2)令和2年新春セミナー並びに新年交歓会の開催について
日時：令和2年1月22日(水)午後4時～
場所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
講師：未定
- (3)事務局人事について
事務局職員の退職に伴う後任として10月1日付で横屋禎昭を採用し、受託施設管理課に配属、更に11月1日付で一人採用し、業務課に配属予定であることを報告。

(2)

2. 提出議案

- 第1号 岩手流通センター活き活き祭協賛金支出の承認について
当組合からの協賛金は、35万円とすることが承認された。
- 第2号 組合創立50周年事業 実行委員委嘱の承認について
組合創立50周年記念事業の準備のため実行委員会を立ち上げ、組合役員及び各部会代表からなる4つの作業部会の委員の委嘱が承認された。

部会・経営研究会活動

・経営研究会 9月例会

9月24日(火)午後5時30分より経営研究会9月例会をホテルエース盛岡にて開催した。

今回の例会はCoachingOfficeの代表平野順子氏を講師に迎え、「自分も相手も大切にしたいコミュニケーション～アサーションのすすめ～」と題して講演を行った。

はじめに、基礎知識としてアサーションという単語について学んだ。アサーションとは「自己表現」と訳することができるが、本質的には「自分も相手も尊重した表現を促す態度」のことである。

つぎに、人間関係における3つの態度を学んだ。相手に合わせる「受身的態度」、自己中心的な「攻撃的態度」、相互の意見の変容を認める「アサーティブな態度」のそれぞれの特徴をグループ学習を交えながら教わった。

最後に、アサーティブな態度を取るための考え方や伝え方を学んだ。自己理解を深めることと、自分の感情と向き合うことが理想的な伝達方法をするうえで大切であることや「事実」、「要望」を具体的に伝えることを「私」を主語としたメッセージで伝えるというテクニックを学んだ。

講義を通して最も印象的だったのは、コミュニケーションは相手があつてのことであるため、自分がどんなに懇切丁寧な対応をしても相手からは「イエス」も「ノー」も返ってくることを覚悟しなければならないという講師の結びの言葉であつた。



・第6部会 視察研修会開催

10月10日(木)部会員10名の参加により、宮城県石巻市から女川町を巡る視察研修を実施した。



はじめに東日本大震災の津波により多くの命が犠牲となった大川小学校跡地へ向かった。かつて子供たちが元気に走り回っていた校庭には草花が生い茂り、その傍らにはまるで時間の流れから取り残されてしまったかのような校舎が、被災当時の姿のままひっそりと佇んでいた。全員で慰霊碑に手を合わせた後、現地語り部ガイドの方と実際に校舎の周りを歩きながら、震災発生時の様子について写真を交え詳しく説明を受けた。

大川小学校では全校児童108名のうち70名が亡くなり、4名が未だ行方不明となっている。教職員も10名が亡くなった。3月11日の地震発生後、津波を恐れた高学年の児童を中心に、普段から体験学習の一環でよく登っていたという校舎裏の小高い山へ駆け上がった。だが教職員によって下された判断は、山に避難するのではなく、全員で校庭に留まるというものであった。そしてそれに従い、児童は一度登った裏山を下りたのだった。

恐怖と不安から涙を流し取り乱す子もいる中、地震発生から50分後、ようやく避難が必要だと気付いた教職員の指示により、裏山ではなく別方向の高台を目指し走り出した。しかし苦しくもその方向から津波が押し寄せ、全員が一気に濁流に飲み込まれてしまった。避難開始からわずか1分後のことであった。その後行われた捜索の際、裏山の裾野には折り重なるようにして亡くなっている30数名の遺体が発見されたそうだ。



一方で、児童が最初に避難した裏山には津波の手は届いていなかったという。想定外の遙か上に行く災害に混乱を極めたとはいえ、当時下された判断に「なぜ」というやりきれない思いがどうしても込み上げてしまう。正しく避難していれば、皆助かったはずの命だった。どんなに心細かっただろうか。どんなに痛かっただろうか。きっと皆何度も家族や大切な人の顔を思い出し「助けて」と叫んだだろう。彼らに襲いかかった出来事を想像すると、あまりにも残酷で胸が締め付けられるような思いであった。

なぜあの日彼らが命を落とさなければならなかったのか。災害に対する正しい知識を身に付ける

こと、そして事実を風化させずに語り継ぐことの大切さを、8年という時を経て改めて痛感した。悲しみを悲しみだけで終わらせないために、そこから何を見出し未来にどう繋げていくのか、この跡地が今を生きる我々にそう問いかけてくるようであった。

その後シーパルピア女川ハマテラスにて昼食を取り、最後に蒲鉾本舗「高政」の工場見学を行った。製造ラインを見学しながら丁寧な解説を受け、蒲鉾作りに対する真摯な姿勢を感じた。最後に地元のソルフードとも言える高政のかまぼこを試食させていただいたが、その味はやさしく、ふつくらとしてとても美味しかった。

穏やかな気持ちの良い秋晴れに恵まれ、現地に足を運ぶことでしか得られない貴重な時間を過ごすことができ、非常に意義深い1日となった。

・第3部会・第6部会合同ボウリング大会

10月16日(水)午後6時30分より盛岡スターレーンにおいて開催した。

<参加数>

11社 15チーム 60名(男性51名、女性9名)

<団体戦>

優勝	マルエス工業(株)チーム	1,096点
準優勝	(株)モリオカ大東Cチーム	1,075点
第3位	平富(株)Aチーム	1,064点

<個人戦>

優勝	及川 良一(株)モリオカ大東)	347点
準優勝	高橋 智紀(マルエス工業(株))	306点
第3位	前川 亘(株)ヤマイチ)	301点



団体優勝：マルエス工業(株)チーム 個人優勝：及川 良一さん

・経営研究会ゴルフコンペ

10月26日(土)きたかみカントリークラブにおいて開催した。

当日は、秋晴れのなかきれいに色づいた紅葉を望みながらのゴルフを楽しむことができた。

プレイ後には場所をホテルパールシティ盛岡に移し、表彰式及び懇親会も開催し、参加者はプレイを振り返りながら情報交換などを行い、大変盛り上がった。



<参加者>

14社19名(うち経営研究会会員11名)

<成績>(新ペリア方式)

- 優勝 金谷嶺孝(株)金谷 NET 71.2
- ベストグロ " (") GROSS 76
- 準優勝 岡村 弥(株)モリレイ NET 73.6
- 第3位 松田和秀(岩手農蚕株) " 73.8

12月 11日(水) 岩手トラックターミナル(株) 取締役会(市内)

12月 12日(木)・13日(金) 全国卸商業団地協同組合連合会 組合事務局職員研修会(東京都)

12月 18日(水) 第9回 理事会(市内)

組合員変更・異動状況

代表者変更

- 常盤洋紙(株)(第5部会) 代表取締役社長 常盤 俊介 [松田 利文]

行事予定

- 11月 1日(金) 東北卸商業団地連絡協議会 事務局女子職員研修会(仙台市)
- 11月 5日(火)・11日(月)~13日(水) 生活習慣病予防健診・がん検診
- 11月 6日(水) 理事長杯第20回卸団地親睦 ボウリング大会(市内)
- " 新入社員フォローアップ研修会
- 11月 7日(木) 組合創立50周年事業委員会 総務部会
- 11月 8日(金) 矢巾町総合開発委員会(矢巾町)
- " 繊維部会・部会企画委員会 合同会議(市内)
- 11月 12日(火) 岩手県火災共済協同組合 中間監査会(市内)
- 11月 13日(水)・14日(木) 団地内秋の一斉清掃
- 11月 14日(木) 環境整備委員会
- 11月 14日(木)・15日(金) 全国卸商業団地協同組合連合会 東北ブロック会議(秋田市)
- 11月 19日(火) 盛岡地域雇用開発協会 役員会(市内)
- 11月 20日(水) 岩手商工中金会 役員会・通常総会(市内)
- " 第8回 理事会
- " 経営研究会 11月例会(市内)
- 11月 22日(金) 第4部会 秋季懇親会(市内)
- 11月 25日(月) 福島卸商団地協同組合 創立50周年記念式典・祝賀会(市内)
- 11月 26日(火) 岩手県火災共済協同組合 理事会・組合創立65周年記念の会(市内)
- 11月 27日(水) 岩手流通センター活性化委員会・交流会(市内)
- 11月 28日(木) 中間決算監査会
- 12月 4日(水) 第1部会(靴部会) 例会
- " 第6部会 忘年会(市内)
- " 経営研究会 役員会
- 12月 6日(金) 第2・3・5部会 合同忘年会(市内)
- 12月 9日(月) 第4部会 例会

お知らせ

・ラポール盛岡1フロビー催事予定

	催事内容	開催日
11月	乾物・珍味販売	7、14、21、28
	婦人服販売	13、14、25~27
	たい焼・たご焼販売	5、8、15、20、25、29
	試飲・販売	15
12月	シクラメンフェア	4~6
	乾物・珍味販売	12、19、20
	婦人服販売	16~20、23~25
	たい焼・たご焼販売	10、13、20、23~27

※都合により追加・変更になる場合があります。

団地内「秋の一斉清掃」

実施日：11月13日(水)・14日(木) 午前中
 ※各社で調整の上、上記2日間のうちいずれかで実施して頂くようお願い申し上げます。
(14日午後から収集車が回ります)
 特に、敷地内のススキやカヤの処理、建物裏側道路・側溝の落ち葉や泥等の清掃を実施し、団地内環境美化のためにも、是非、ご協力をお願いいたします。

リサイクル事業をご利用ください

このリサイクル事業は、協同組合盛岡卸センターと環境整備委員会が協力して、流通センター内企業の皆さんと一緒に取り組むリサイクル活動です。ごみを分別回収して資源化することによって、ごみの減量、更にはCO2排出量の削減をはかり、環境に配慮した企業活動を行うことで社会貢献につながります。

更に上記リサイクル事業参加者を対象に、パソコンを無償で引き取りし、専門業者がリサイクル処理するパソコンリサイクルを行っております。貴重な資源の有効利用のためにリサイクル活動にご協力よろしく申し上げます。



リサイクル事業回収品目は、
 ①ダンボール②新聞紙③雑誌・一般紙④ペットボトル⑤アルミ缶⑥スチール缶の6品目

1kgあたり3円のキャッシュバック

リサイクル事業参加企業は**パソコン無償引き取り**(別途申込必要)
 回収対象品目は、
 ①デスクトップPC本体②ノートPC③液晶ディスプレイの3品目
※ディスプレイのみでの回収は、出来ません。